

2015年(第7回) 広大ヨット部 OB 戦 帆走指示書

1. 適用規則

- 1.1 本大会は「2013～2016年国際セーリング競技規則」の規則(ただし、レース公示およびこの帆走指示書によって変更されたものを除く)を適用します。しかし、長期間にわたりヨットから離れている選手については、ヨット部所属時の規則に基づく救済が認められます。
- 1.2 RRS42 違反(推進違反)に対するペナルティは付則 P を適用します。
当規則に違反した場合は、プロテストから笛を吹かれますので、ペナルティを解消して下さい。

2. 参加申込み

レース開始までに各代の理事か OB 戦事務局に申し込むものとします。

3. 帆走指示書の変更及び競技者への通告

陸上及び海上において帆走指示書を変更する場合、またその他の通告を行う場合は、口頭で伝えます。L 旗の掲揚で集合をかけることもあります。

4. レースフォーマット

- 4.1 レースは国際スナイプ級を使用した 1 チーム 1 艇による団体戦とし、リハビリシリーズとガチシリーズの 2 部によって構成します。
- 4.2 リハビリシリーズ
 - 4.2.1 長らく海から離れた選手のリハビリを兼ねて、クルージング要素を取り入れたレース形式です。順位が悪くても運が良ければ挽回できるので気軽にレースに臨んで下さい。
 - 4.2.2 レース海面に浮かぶ浮標(YP ブイ)を 1 艇につき 1 個回収しフィニッシュして下さい。
 - 4.2.3 YP ブイの回収は 1 マークへのレグの途中に行ってください。ただし、レース委員会の裁量で回収レグを変更することがあります。
- 4.3 ガチシリーズ
 - 4.3.1 通常のレース形式と同様のレース形式です。現役時代を思い起こし、相手艇と競ってレースに臨んで下さい。

5. レースの日程

- 5.1 レースの日程は次のとおりとします。ただし、レース委員会の裁量により変更する場合があります。

7月19日(日)	12:30	開会式・スキッパーズミーティング
7月19日(日)	14:00	第1レース(リハビリシリーズ) 予告信号 引き続きレースを行う。
- 5.2 引き続き行われるレースの予告信号は前のレースが終了した後、任意の時刻に発せられます。
- 5.3 リハビリシリーズ 4 レース程度、ガチシリーズ 4 レース程度を目安にレースは出来る限り行います。
- 5.4 7月19日(日)は 16:30 を超えてのレース予告信号は発しません。

6. クラス旗

クラス旗は下記を用います。
国際スナイプ級 F 旗

7. レースエリア及びコース

- 7.1 レースエリアはレース委員会によって任意に決定されます。また、図 A に各レグ間のおおよその角度を含むコース、通過すべきマークの順序および各マークの定められた側を示します。
- 7.2 リハビリシリーズはリーチングコースまたはランニングコースとし、どちらのコースとするかは予告信号前に口頭で指示します。

8. マーク

- 9.1 マークはピンク色のブイまたは発泡ブイを使用します。
- 9.2 YP ブイは色付き発泡ブロックを使用します。

9. 申告

- 9.1 出走申告・帰着申告は、陸上本部長に行うものとします。
走って逃げる可能性があります。逃げられないよう気を付けて下さい。
- 9.2 選手を交代する場合は、本部船に選手交代申告をして下さい。
極力沢山の方がヨットに乗れるようご配慮下さい。
- 9.3 リタイアしようとする艇は速やかにレース海面を離れ、リタイアする旨を本部船に伝えて下さい。

10. スタート

- 10.1 レースは RRS26 に従いスタートするものとします。
- 10.2 スタートラインは本部船のオレンジ色旗を掲げたマストまたはポールと本部船ポート側直近ブイの間とします。
- 10.3 スタート信号後 4 分を経過した後、スタートラインは消滅します。それ以後にスタートした艇は DNS と記載されます。
- 10.4 RRS30.3 違反(黒色旗ルール)の艇に対しては、本部船より口頭で知らせるものとします。

11. コースの次のレグの変更

コースの次のレグの変更の場合、C 旗の掲揚とともに、口頭で運営船より次のブイが示されます。

12. コースの短縮

コースを短縮する場合には、RRS32 に基づきます。この場合フィニッシュラインは直近のマークと運営船の青色旗を掲げたマスト又はポールの間とします。

13. フィニッシュ

フィニッシュラインは、コース短縮の場合を除き、本部船のオレンジ色旗を掲げたマストまたはポールと図 A に示す位置のブイの間とします。

14. タイムリミット

- 14.1 先頭艇からのタイムリミットは、正規にスタートしたかしないかに係わらず、最初にフィニッシュラインに達した艇の時刻から 15 分とします。
- 14.2 タイムリミット内にフィニッシュしなかった艇に対しては、DNF と記録されます。

15. 抗議

- 15.1 抗議及び救済の要求は、本部船にそのレース終了後速やかに行い、被抗議艇に審問のために本部船の近くにいるよう伝えてください。
- 15.2 抗議の審問は、本部船付近でプロテストにより行われますので、本部船から離れないようにして下さい。

16. 得点

- 16.1 得点方式は RRS 付則 A の低得点方式とし、シリーズを問わず全てのレースの得点の合計とします。
ただし、リハビリシリーズの得点は、回収した YP ブイに付された得点も合計します。
- 16.2 失格及び申告手続き違反の艇は、「艇の得点」にそれぞれ審問なしで以下の得点を加算します。
DSQ、BFD、DNE : +2 点
PTP : +1 点

17. 安全規定

ライフジャケットの着用とパドルの搭載は必ず行うようにして下さい。
守られない場合は、レース委員会またはプロテストより失格とされます。

18. 代替レース

帆走が困難な天候の場合は、レース内容・コースを変更して大会を行うものとします。

19. 表彰

優勝チームには、参加選手からの拍手によって表彰を行い、賞としてスイカを授与します。

20.その他

強い日差しとお酒の飲みすぎには気を付けてください。

海にゴミは捨てないようにして下さい。

また、艇に損傷を与えた場合は、必ず修理をしてご帰宅下さい。

ノーケース・ノートラブルで楽しいレースにしましょう。

図 A

【リハビリシリーズ】

リーチングコース スタート → ① → ② → フィニッシュ	ランニングコース スタート → ① → アウター → フィニッシュ

【ガチシリーズ】

スタート → ① → ② → ③ → ① → ③ フィニッシュ